

表現力や説得力、目的達成のための広報戦略を実践的に学ぶ「コミュニケーション科目群」、訪問企業の情報や就職情報を網羅したデータベースとコミュニティサイト「尾大ジョブ」を新たに3つの柱として、実施するものである。

Q 今回購入する備品の中身について聞きたい。

A 新たに雇用する講師、嘱託職員、臨時職員のための事務机等やキャリア演習を行う際の東京事務所との遠隔講義システム、プレゼンテーションのための機器、企業に出向いた際のビデオカメラなどを購入する予定である。

Q この事業は、まだ議案が可決されていないにもかかわらず、マスコミ報道されるなど、議会側への配慮が欠けているのではないかと、既に活動が行われているようだが、順序が違うのではないかと。

A 国から選定されたことで経済界からの協力を得ることができるようになり、大学としての就業力を高めるための取り組みを、市民を含め広くアピールするためだったが、議会側への配慮が足らなかったと反省している。

Q 特任教授に支払われる報酬の月額50万円の根拠について聞きたい。

A 年齢や講義内容等を勘案し、尾道大学の同年齢の教授の、おおむね4分の3に当たる額を月額報酬とした。

Q 会社経営者が特任教授を兼任することになるが、授業等に支障は生じないのか。

A 嘱託職員には地方公務員法という兼業の規制はなく、週約30時間勤務する予定になっており、授業に支障はない。

○産業建設委員会

◆しまなみサイクリングロード整備事業について

Q しまなみサイクリングロード整備事業で道路に引くブルーのラインの起点と終点について聞きたい。

A 向島町尾道学園正門前市道から瀬戸田町多々羅大橋までである。

Q 今回の補正で市がラインを引く場所と延長距離について聞きたい。

A 因島重井町地内の市道山田鬼岩線で、路線の延長は4キロメートルで、ラインの延長は道路両側で、7.6キロメートルである。



ブルーの路面サイン

◆鳥獣防護さく等設置事業費について

Q 鳥獣防護さく等設置事業費が760万円計上されているが、何箇所設置する予定か。また、わなは現在どのくらい

仕掛けてあるのか。

A 既に聞いている要望数と今後の見込み数を基に予算計上しており、具体的な設置箇所は想定していない。また、わなは市内全体で68箇所あり、捕獲数は4月1日から11月14日までで795頭で、対前年度170頭の増である。

◆ボードウォーク整備事業について

Q ボードウォーク整備事業で購入予定のバンコノミチとパラソルについて、具体的にどのようなものを購入し、どこへ設置するのか。また、その目的は何か。

A バンコノミチについては、公会堂前広場にあるテーブルと椅子と同様のものを10セット製作し、駅前ウッドデッキと商店街の商業会議所記念館広場に各5セット配置する予定で、市民や観光客に休憩の場を提供することが目的である。また、パラソルについては、アルミ合金フレームの傘60本を購入し、駅前港湾緑地のボードウォークのトイレから西側約200メートルの間に設置する予定で、日中日陰になる場所をつくり、市民に憩いの場を提供することと、来年夏には海フェスタも開かれることから設置を考えている。



ボードウォークに設置されたバンコノミチ

◆広場用緑地整備工事請負費について

Q 広場用緑地整備工事請負費の補正内容について聞きたい。

A 土堂二丁目の中華料理店の跡地を購入し、公園として整備しようとするもので、現在建物の一部が水路敷上にあるため、水路の管理上、建て替えができないため、所有者に売却の意向を確認し、市の眺望景観確保の観点から土地と建物を購入するものである。

◆因島水軍城について

Q 因島水軍城の近年の利用状況について聞きたい。

A 入場者は平成11年度13万人で、以後年々減少し、近年は2万人前後で推移している。このため水軍城、フラワーセンター、囲碁記念館等の因島見所共通券を発行して集客に努めている。



因島水軍城

■決議

◇北朝鮮による韓国延坪島への砲撃を厳しく非難する決議

■意見書

◇切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書

◇脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書

◇身近な地域で出産できる助産システムの実現と、妊婦健診・出産費用の公費負担による無料化を求める意見書

◇環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加に関する意見書

●平成23年第2回定例会審議日程(予定)

2月16日(水) 議会運営委員会	10:00
本会議(開会)	13:30
17日(木) 予算特別委員会	10:00
21日(月) 議会運営委員会	10:00
本会議	13:30
3月2日(水) 本会議(総体質問)	10:00
3日(木) 本会議(総体質問)	10:00
7日(月) 予算特別委員会	10:00
8日(火) 予算特別委員会	10:00
9日(水) 予算特別委員会	10:00
10日(木) 予算特別委員会	10:00
議会運営委員会(委員会終了後)	
11日(金) 予算特別委員会(予備日)	
15日(火) 議会運営委員会	10:00
本会議(閉会)	13:30

■議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会では、条例の制定や改廃、予算など、尾道市をより暮らしやすいまちとするため、市民の皆さんの日常生活に関連するさまざまな問題が審議されています。どなたでも傍聴できますので、気軽にお越しください。傍聴席は本会議51席(車いす利用者3人分含む)、委員会10席程度です。

○議会を傍聴するには

傍聴を希望する人は、当日、市役所5階の議会事務局までお越しください。受付で住所、名前、年齢を記入していただきます。

■本会議の録画中継をご覧ください

ご家庭のパソコンで本会議の録画中継を見ることもできます。忙しくてなかなか時間が取れない人でも気軽にご利用いただけますので、ぜひご覧ください。視聴方法は、尾道市議会ホームページの「本会議録画中継」からご覧になりたい会議名を選んでください。

http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/gikai/gikaiindex.html

議会事務局 ☎0848-25-7371

土曜日・日曜日に市役所で 転入・転出等の手続きができます

仕事等で平日に住所変更手続きが
困難な人は、ぜひご利用ください。

日時 3月26日(土)・27日(日)
4月2日(土)・3日(日)
8:30~17:15



場所 本庁市民課、因島総合支所市民生活課
業務

- ◆住民異動届(転入・転出・転居・世帯主変更等)
- ◆証明書等(住民票、印鑑登録・印鑑証明書、戸籍証明書、
身分証明書等、※外国人登録原票記載事項証明書)
- ◆戸籍届(戸籍の届書は受付しますが、後日審査となる
場合があります。)
- ◆旅券受けとり(旅券の申請はできません。)
- ◆住民基本台帳カード申請・受けとり
- ◆住居表示申請(本庁市民課のみの取り扱いとなります。)
- ◆臨時運行許可申請
- ◆県証紙販売

- ◆埋火葬許可申請(死亡届時に許可証をお渡しします。)
 - ※「外国人登録原票記載事項証明書」は、証明の内容によ
っては対応できない場合があります。
 - ◇他機関との連絡が必要な手続きや、戸籍届出後の戸籍
証明、外国人登録事務、住民基本台帳カードの即時発
行、電子証明書等、取扱いができないものがあります。
 - ◇住民異動届に伴う年金・国民健康保険等関係課の手
続きは後日お願いします。
- 不明な点は事前にお問い合わせください。

毎週金曜日は午後7時まで 市民課関係業務を行っています

場所 本庁市民課、因島市民生活課
業務 住民票、印鑑証明書、戸籍証明書、パスポート
受取等(住所変更、パスポートの申請等
はできません。)

問い合わせ先

市民課(☎0848-25-7102)
因島総合支所市民生活課(☎0845-26-6208)

インターネット公売を実施します

市では、市税等滞納者の自宅や事務所の「搜索」で差
し押さえた「つぼ・版画」など41点を、インターネット
で公売します。

インターネット公売は、いつでもどこからでも入札
に参加できる公売システムです。また、税務署や他の
自治体等とともに官公庁オークションに参加するた
め多くの出品があり、より多くの人に入札に参加して
もらうことで公売が成立しやすくなり、滞納額の縮減
につながります。ぜひ、ご参加ください。

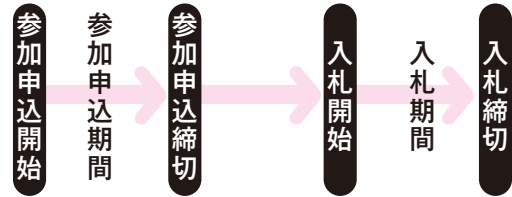
参加申込期間

2月16日(水)13:00~2月28日(月)23:00

入札期間 3月4日(金)13:00~3月6日(日)23:00

官公庁オークションの流れ

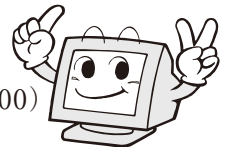
<http://koubai.auctions.yahoo.co.jp>



※官公庁オークションは、物件ごとに参加申込が必要です。

問い合わせ先

収納課公売担当(☎0848-37-2600)



母子家庭・寡婦などへの 就学支度資金や修学資金貸付

県では、次のとおり就学支度資金等の貸付制度を設
けています。不明な点は右記へ相談、問い合わせをし
てください。(貸付申請書提出後に、母・子ともに面接
を受ける必要があります。)

対象 母子家庭の児童、父母のない児童、寡婦の子等

据置期間 卒業後6カ月 償還期間 10年以内

利子 無利子(ただし、償還の期限に遅れた場合
は違約金がかかります。)

※就学支度資金・修学資金ともに進学先が確定次第随
時申請書を受け付けます。資金交付までには1~2
カ月かかります。申請書は子育て支援課または各支
所(向東・浦崎・百島支所を除く)にあります。

貸付限度額	就学支度資金		修学資金(月額)		
高校	国公立	自宅通学	150,000円	自宅通学	18,000円
		自宅外通学	160,000円	自宅外通学	23,000円
	私立	自宅通学	410,000円	自宅通学	30,000円
		自宅外通学	420,000円	自宅外通学	35,000円
大学	国公立	自宅通学	370,000円	自宅通学	45,000円
		自宅外通学	380,000円	自宅外通学	51,000円
	私立	自宅通学	580,000円	自宅通学	54,000円
		自宅外通学	590,000円	自宅外通学	64,000円

問い合わせ先

広島県東部厚生環境事務所厚生課(☎0848-25-2011)

申請書提出先

子育て支援課(☎0848-25-7113)
因島総合支所因島福祉課(☎0845-26-6210)
御調支所住民課(☎0848-76-2136)
向島支所住民福祉課(☎0848-44-0111)
瀬戸田支所住民福祉課(☎0845-27-2209)